



NISHISUITA
PRECIOUS
KINDERGARTEN

世界が平和になりますように



May the world be at peace.



西吹田プレシャス幼稚園

2024年度学校評価報告書



学校法人徳永学院

西吹田プレシャス幼稚園

<https://nishisuita-precious-k.com/>



NISHISUITA PRECIOUS KINDERGARTEN



西吹田プレシャス幼稚園の教育と取り組み

西吹田プレシャス幼稚園では、「すなおで あかるい げんきなこ」の園訓のもと、
心と体の成長を支える教育に取り組んでいます。

子どもたち一人ひとりの個性を大切に、保護者や地域と連携しながら、
より良い園運営を目指しています。





NISHISUITA PRECIOUS KINDERGARTEN

園の教育方針

西吹田プレシャス幼稚園では、次世代を担う人材育成の観点から
コスモポリタン（国際人）・グローバル人材育成に
取り組む、環境や教育体制を整えています。

教育理念

「すなおで、あかるい、げんきなこ」

を園訓として、たくましい人間育成を目標としています。

教育方針

～教育の質の向上に向けて～

規則正しい生活に慣れ、友だちと集団生活を送り、協調性や社会生活との関わりを持ち
「社会性」を身につけます。

さらに、多様性を理解し、自分と違う人も尊重できる柔軟な心を育みます。

小学校で正課となった英語・ダンス・プログラミングへのスムーズな導入が図られるように、
教育内容を充実しました。

プレシャスな子どもたちへ

《 原 義 》

Precious
～ プレシャス ～

貴重な
Valuable

かけがえのない
Irreplaceable

大切な
Important

いとしい
Lovely

可愛い
Cute

最愛の
Beloved



本年度の重点目標・成果と課題

主な取り組み・成果

24年度目指したもの 「3コース編成によって どこにもない特長ある園を目指す」

【総合評価】 24年度はそのためのあしかがりの1年目とする。・・・・・・100点

そのための園運営の効率化を目指す・・・・・・75点

- アカデミック / インクルージョン・モンテッソーリ / インターナショナルの3コース編成

◆ 取り組み

従来の幼稚園教育（一斉保育）をアカデミックに位置づけ教育の内容を変えるインターナショナル、教室の方法を変えるインクルージョン・モンテッソーリクラスを新たに設け3コース編成に変更し、保育園、他幼稚園との差別化を図った。

2023年9月に発表し 24年4月新入園児を主たる対象とし2024年4月より実施した。

2024年4月新入園児は アカデミーコース38名、インクルージョン・モンテッソーリ7名／インターナショナル10名の合計55名の入園となった。

◆ 評価

- 「おもいやり・やさしさ」「信頼関係」の育成、異年齢交流を重点的に推進し、一定の成果を達成。
- 行事や教育活動において子ども同士が意見を出し合い、協力しながら活動を深めることができた。
- 教職員間で教育方針・計画を共有し、全学年で一貫した教育が展開できた。
- 課題認識と向き合えた事が大きなこと。（園児減少に対応）
- 各クラス編成と指導プログラムの効果も見られた。
- 2025年度の3年保育園児数

アカデミック33名 / モンテッソーリ9名 / インターナショナル8名 合計50名の新入園児となった。

- 満3歳児の入園にトライし、インターナショナルに限定ではあるが2名の入園となった。
- 教室／教員体制から満3歳児単独クラスは設定せず、3歳児との共同クラスで運営した。

トライ中であり 評価はまだ未定であると言えるが、満3歳児はスムーズに3歳児に入りリーダーシップを発揮している部分がある。

新人園児の増加にみられるように3クラス編成による園の特徴付けは概ね高評価を受けた告知についても新たにSNS発信等の積極使用により大きな効果を上げた。

- 途中入園 園見学希望者の増加
- 通園範囲の拡大

今後の課題

1. インクルージョンの運営の困難さ

インクルージョンを1クラス設置したが、その運営は困難を極めた。

園としてはモンテッソーリ教育を考えて実施したが保護者のインクルージョンの教育イメージは特別支援教育のイメージであり、その格差に苦しんだ1年であった。

教師の専門知識教育スキルも不足し新規採用も必要能力保持者不足で不十分であった25年度はインクルージョンという表現はやめ、モンテッソーリ教育を明確に打ち出して取り組む

※ モンテッソーリ 教員資格を持つ先生中心に

本年度の重点目標・成果と課題

今後の課題

2. 教師体制の再構築

モンテッソーリインターナショナル共に専門講師体制で運営できるか3学期にトライアルを幼稚園教育上専任の担任が必要であることがはっきりした。

講師には担任の果たすべき業務は無理であり、担任には講師の持つ専門スキルは無理である事から24年度同様、25年度も講師と担任のコンビ体制をとっていくこととする。

3. 専門講師体制の構築

モンテッソーリはモンテッソーリ教師資格者

インターナショナルはネイティブという希少な専門知識とスキルとさらに、幼児との親和性が必要であり。

このような人材は極めて少なく更に勤務条件も厳しく移動性も高い傾向にある。

国内教師免許との兼ね合いも含め処遇管理等新たなマネジメントを必要とする。

短期的にも中長期的にも今後の継続課題である。

4. 教師間の協同

園全体としてモンテッソーリインターナショナルを継続にしていくからにはアカデミック担当教師といえども相応の協力・運営が必要であり園の課題として取り組む必要がある。





教育活動の自己点検・評価

◆ 教育理念

- 全教職員が教育方針を理解・共有して取り組んでいる。

◆ 教育計画・指導計画

- 教育要領や園児の実態を踏まえた指導計画を作成し、随時見直しを実施。
- 学年間の週案・学期末の振り返りを通じて情報を共有。

◆ 教育の実態

- 幼児期に育ってほしい「10の姿」を意識した教育を推進。
- 子ども一人ひとりの成長を記録し、保護者とも共有。
- 友だち関係が広がるような環境づくりを継続。

◆ 学級運営

- 教室環境を整理整頓、安全面に配慮して管理。
- 出席簿や教育日誌を正確に記入し、配布物や連絡帳も適切に対応。

◆ 教職員の研修・資質向上

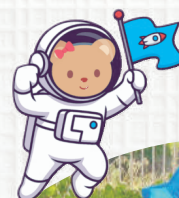
- 大阪府・吹田市主催の講座や体育・造形・製作など各種研修に積極的に参加。
- 園内研修や教材研究を通じて学びを共有。

◆ 保護者との連携

- 登降園時や連絡帳、クラス通信などを通じて密な情報共有を実施。
- コミュナビアプリやInstagramを導入し、情報発信を強化。
- 保護者の声を大切にし、必要に応じて府・市の関連部門とも連携。

◆ 学校関係者の評価

- 防災・アレルギー対応マニュアルを整備し、定期的に訓練を実施。
- 教職員の働く体制を整え、有休を取りやすい環境づくりを推進。
- 総じて「妥当」と認められる評価を受けた。



保護者・地域から見た園に対する評価

- 永年の歴史と伝統を大切にしながらも、保護者や地域の意見に耳を傾けよりよい園運営を目指している姿勢が良い。
- 全ての先生方が、全園児の顔を覚えていてくださり温かく目の行き届いた対応をしてくださる。
- 通園バスは無いが、その分、登降園時に親子の対話の時間が持て、毎朝担任の先生と顔を合わせ子どもの体調等、細かな事でのコミュニケーションがとれる。
- 園の雰囲気の中で子ども達は生き生きとした表情で元気に活動できる。
- 卒園生と幼稚園の絆がいつまでも強く、夏まつり・園遊会・運動会などに参加する等、地域に根ざしているのが良い。
- 保護者・地域への情報公開に積極的に取り組んでいるのが良い。
例えば、ホームページの教育日記やSNSなどの発信が日々更新され、教育中の事がよくわかり、毎日楽しみに見ている保護者が多数いる等。
- キャッシュレス対応（口座引落）が導入され、利便性が向上。
- 先生方全員が園児一人ひとりを温かく見守っている。
- 園舎がかわいらしく、園児・保護者から好評。
- 教育日記を毎日更新し、園の様子がよく伝わる。
- 未就園児も含めた異年齢交流、卒園生とのつながり、地域行事への参加などが好評。
- 給食・課外教室（サッカー・絵画・英語・プログラミング等）も充実。
- 預かり保育は19時まで対応し、共働き家庭にとって心強い。
- キャッシュレス対応（口座引落）が導入され、利便性が向上。
- 自発的に園児が字や、数字を学ぶ気持ちにさせ、教えてくれるのが喜ばしい。
- 問題点はインターナショナルとモンテッソーリクラスに先生が手厚く、アカデミッククラス（一斉保育）は先生が少なく感じられることです。



園運営の改革

園運営の効率化へ向けて取り組みを実施した・・・効果は25年度より園体制のスリム化

1. 管理体制のスリム化

- 管理・業務人員の削減 4名を1名へ 4名退職 1名採用 △3名
管理業務の定型化|CT化(コミュニナビ)
- 担任は専任教師 補助は兼任教師(時給教師)
総合的に担任教師のスリム化と業務複合化

2. 賃金基準の改定

- 本給のアップ 熟練度評価の導入 賞与の経営実績連動へ改定

3. 園施設・設備の充実

- 本館トイレの改修(湿式→乾式化・暖房便座付トイレの入替他)
- 廊下の室内化(預かり保育の拡充も狙い教室の拡張)
- 園庭のグリーン化(人工芝を敷設)
- 教室へのディスプレイ設置(大型画面75・65インチ / DVDプレイヤー)
- ピアノ(2台入替)
- 教師のICT化充実(コミュニナビ導入・タブレット・ノートパソコン)
- 本館エアコンの増設





事業の概要

■ 保育の状況 2024年(令和6年)5月1日現在

開園時間 8:00~19:00

保育時間 月・火・木・金 9:00~14:30
水 9:00~12:30

預かり保育 平日開園日全日 年間203日
夏季・冬季・春季休業日の内35日
合計年間238日

休園日 土・日・祝・創立記念日
夏季 7/22~8/23 冬期 12/25~1/7 春季 3/25~4/9

昼食 給食/週5回 手作り弁当/月2回

通園方法 徒歩/自転車/車(早朝のみ) 個人送迎

子育て支援 教育相談・園庭開放(年16回+随時) プレスクール(来春入園者)
キンダーカウンセリング(月1回)

■ 学級・園児・教職員の構成 2024年(令和6年)5月1日現在

認可定員 定員 210名(8クラス)
(クラス数)

実 員 3歳児 35名(2クラス)
(クラス数) 4歳児 23名(1クラス)
5歳児 41名(2クラス)
複 式 15名(2クラス)
合計119名(7クラス)

教 職 員 園長 1名
副園長 1名
全般指導・支援... 1名
学級担任..... 7名
預かり担任 2名
預り補助 2名
英語講師 3名
運動講師 1名
臨床心理士..... 1名
職員 4名
合計23名



事業の概要

入園案内 募集要項《令和7年度・72回生》

資格年齢 3歳より学年に達するまでの幼児が入園できます。

募集対象

学 年	生年月日	募集数
3歳児（年少）	令和3年4月2日～令和4年4月1日	70名～
4歳児（年中）	令和4年4月2日～令和5年4月1日	20名～
5歳児（年長）	令和5年4月2日～令和6年4月1日	10名～

※西吹田プレシャス幼稚園の募集定員数は210名です。

願書配布

9月1日（日）10：00～より玄関受付にて願書をお渡しいたします。

入園説明会

第1回 9月1日（日）9：00a.m. ～ / 第2回 9月1日（日）9：45a.m. ～
第3回 9月4日（水）14：00p.m. ～

場所：2階本館にて説明会・相談会を行います。
お子様も、園庭や教室で教職員とあそべます。

願書受付 定員になり次第締め切ります。

10月1日（火）より 10：00～14：00の間受付にて願書に入園料・入園検定料を添えてお申し込みください。

入園検定

10月1日（火）より行います。入園検定料（合格者）は3,000円を収めください。

入園料

3年教育児（3歳児・年少） 80,000円 / 2年教育児（4歳児・年中） 70,000円
1年教育児（5歳児・年長） 60,000円
※70周年記念事業として祖父母・父母・兄弟が卒園されている場合、
就園奨励費として10,000円減額させていただきます。

教育用品等

制服、教材等教育用品代 約46,000円
物品購入：令和7年1月17日（金）/ 物品渡し日：令和7年3月6日（木）

開園日・時間

235日/年（教育日204日/年・長期休暇31日/年）
8：00～19：00（11時間/月）

教育時間

◆月・火・木・金 / 9：00～14：30 ◆水 / 9：00～12：30
※学年毎に「英語あそび」「体操あそび」の教育があります。（3歳児は2学期から）

教育費用のご案内《令和7年度》 一人ひとりの個性豊かな感性を育む3つのコース《3歳児》

	 ACADEMIC CLASS アカデミック クラス 定員：40名～	 MONTESSORI CLASS モンテッソーリ クラス（縦割り） 定員：10名～	 INTERNATIONAL CLASS インターナショナル クラス（縦割り） 定員：20名～	
入 園 時	入園金	80,000円 ※70周年記念事業として祖父母・父母・兄弟が卒園されている場合、就園奨励費として10,000円減額させていただきます。		
	授業料	25,700円／月	40,700円／月	55,700円／月
	国授業料助成金 （代理受給）	25,700円／月		
	実費負担額	0円	15,000円／月	30,000円／月
	進級登録料	0円	20,000円／年	50,000円／年
入園後 特定負担額	昼食費	7,500円／月 ※4月（3,750円）・8月（0円） ※長期休暇前時の昼食費は、別途対象者のみ徴収致します。	※行事（校外学習等は手弁当） ※母の会休会時は、園が行事に活用します。	
	施設協力費	3,000円／月		
	父母協力費 （行事費）	1,000円／月	※行事に活用します（遠足・イベント等） ※母の会休会時は、園が行事に活用します。	
	教材・教科書費	絵本代・追加補充制服・教材用品等は 実費を徴収	実費を徴収	実費を徴収

その他

- ◆給食費、課外教室授業料は幼稚園欠席の場合、月末に返金します。
- ◆納付していただく入園検定料、入園料、授業料について消費税は課されていません。
- ◆未就園児対象の
 - ・園庭開放（定員なし）第1木曜 10：30～11：45
 - ・親子教室（定員あり）第3木曜 10：30～11：45
- ◆キンダーカウンセリング 月1回（地域の皆様、どなたでもご利用可）
臨床心理士 / 公認心理師によるカウンセリングを無料で行っています。

※年に1回コース変更できます（変更費用無し）。進級登録料は必要です。



財務状況

◆ 財務活動報告

◆ 概要

令和6年度は園の新たな方向に向けた初年度の年となった。

従来の一元的教育からアカデミック モンテッソーリインターナショナルのそれぞれ異なる教育プログラムのクラスによる教育に舵を切った年となった。

具体的には各クラス毎に独自の教育プログラムの開発・実践、教師人材の確保、教室設備等の整備、等々いずれも重要かつ緊急課題ばかりであり、いくつも平行して進める事が求められた。

令和5年9月の募集時に発表し準備を進めてきた。結果として6年4月の新入園児は53名を数え前年度103名の園児数は119名へと回復基調にある。

6年度はモンテッソーリ8名 インターナショナル7名でスタートしたが、新たに始めたアカデミック・モンテッソーリ・インターナショナル3クラスの基礎を固め先の取組への道筋を作り上げることに取り組んだ。

当然ながら新しい2クラスに時間・頭脳・人手コストを傾斜配分せざるをえなかった。

◆ 6年度総括

- 園児数の増加及び新クラスの実施により、学生生徒納付金が5年度比131%12,094千円の増加となった。園児数は115%であり、新クラスの効果は明らかである。
結果教育活動収入は前年比116%となった。一方教育活動支出は新クラス担当講師の採用、管理経費の増により前年比107%となったが、幼稚園の本分である教育活動収支は、ほぼ収支均衡まで回復した。
- 新たな教育プログラムの実施に向け、園舎施設・設備の改築が必要と判断し、約50,000千円をかけ園舎内装改築、設備の充実に取り組んだ。これによって当面の施設改築は一段落した。
7年度以降への準備が整ったと考える。
- 改築の資金として資金の借り換えと併せ新規借り入れを実施した。
総括すると、6年度は教育活動収支のバランスを取り戻したが、施設整備収支に負担をかけ、借入金にてまかなった形となった。
一方で6年度の取り組みとして園運営の効率化にとりくみ、新たな給与基準の策定・労働基準の見直し・組織の効率化を進めた。
7年3月末をもって間接部門の効率化を実施、効果は7年度に期待している。
これらの取り組みによって7年度は教育活動収支の完全黒字化を実現したいとかがえている。



財務状況

【資金収支計算書】

単位：円

科 目	令和6年度
学生生徒等納付金収入	51,195,699
手数料収入	159,000
寄付金収入	1,456,000
補助金収入	57,643,000
付随活動収入	21,745,610
雑収入	763,926
借入金等収入	106,392,036
前受金収入	4,130,000
その他の収入	20,753,967
資金収入調整勘定	-19,349,900
前年度繰越支払資金	59,705,094
収入の部合計	304,594,432
人件費支出	64,131,296
教育研究費支出	31,077,916
管理経費支出	24,266,121
借入金等利息支出	2,288,278
借入金等返済支出	86,028,739
施設関係支出	46,263,250
設備関係支出	4,537,680
その他の支出	27,978,490
資金支出調整勘定	-10,669,849
次年度繰越支出資金	28,692,511
支出の部合計	304,594,432

【事業収支計算書】

単位：円

科 目	令和6年度
学生生徒等納付金収入	51,195,699
手数料収入	159,000
寄付金収入	1,456,000
補助金収入	44,789,000
付随活動収入	21,745,610
雑収入	757,468
教育活動収入計	120,102,777
人件費支出	64,131,296
教育研究費支出	37,744,432
管理経費支出	12,348,002
付随活動支出	13,524,585
教育活動支出計	127,748,315
教育活動収支差	7,645,538
教育活動外収入	6,458
教育活動外支出	2,288,278
教育活動外収支差	-2,281,820
特別収支差額	12,845,528
基本金組入前当年度収支差額	2,918,170
基本金組入額合計	-50,800,930
当年収支差額	-47,882,760
前年度繰越収支差額	-252,078,742
翌年度繰越収支差額	-299,858,109

【貸借対照表】

単位：円

科 目	令和6年度
固定資産	188,032,333
流動資産	44,262,411
資産の部合計	232,294,744
固定負債	123,569,039
流動負債	76,925,522
負債の部合計	200,494,561
基本金	331,658,292
繰越収支差額	-299,858,109
純資産の部合計	31,800,183
負債及び純資産の部合計	232,294,744

【財産目録】

単位：円

科 目	令和6年度
固定資産	188,032,333
流動資産	44,262,411
資産総額	232,294,744
固定負債	123,569,039
流動負債	76,925,522
負債総額	200,494,561
正味財産	31,800,183



監査報告書

学校法人 徳永学院

理事長 徳永倭殿

令和7年5月28日、私立学校第52条及び、寄付行為第28条に基づいて、
令和6年度決算にかかる事業報告、決算報告及び関係諸帳票、証拠書類
並びに理事の業務執行の状況について監査したところ、
その事業の執行及び財務証票の適正であることを認めます。

令和7年5月28日
学校法人 徳永学院

監事 浦田昇一



浦田昇一

監事 松本浩幸



松本浩幸